

ご提案の骨子

本制度の導入実施にあたり、市の制度として対象の施策への参加を促す動機づけとして活用するだけでなく、**市民協働として、市民全体が主体的にポイントを活用して**、自らの活動の活性化や情報発信を行い、枚方市のまちづくりを進めていけるポイント制度をご提案いたします。

また、全国で官民協働の地域共通ポイントの運営実績を持つ弊社と枚方市内で事業者の経営支援、ネットワークを持つ北大阪商工会議所と協力し、地域経済の活性と自主運営を見据えた運営体制を構築し、事業開始後も発展していくポイント制度を目指します。

- 弊社はポイントシステム導入だけでなく、枚方市ポイント制度導入から運営までトータルサポートを行うことが可能です。
- 各地で培ったノウハウと枚方市内にもつ事業者とのネットワークを活用し、制度運営も発展的に行って参ります。

豊富な官民協働事業の実績と運営体制の構築

他市で導入実績を元に、制度設計から協力店開拓まで制度の導入から運営までサポートを主体的に実行してまいります。長年行ってきた地域情報サイト運営を枚方市内でも行っており、北大阪商工会議所と協力し、運営実施体制を構築いたします。**地域情報サイトとポイント制度を合わせて活用することで、市民に主体的にまちづくり参加できるような場所と機会を提供して参ります。**

市民と事業者ともに参画しやすいシステム

導入予定しているポイントシステムは大日本印刷（株）との共同開発しており、他市でも導入実績があります。スマートフォン型端末とFeliCaポケット搭載のICカードで**高齢の方でも直感的に使い、手間をできるだけ減らすことで多くの市民、事業者の参画を見込みます。**また、制度の発展にともないシステムの拡張にも積極的に取り組みます。

弊社は地域の住民、商店、企業、活動団体、自治体など、「地域」に関わる様々な情報を流通させる仕組み「**地域情報プラットフォーム**」を構築し、地域の人・物・金の活発化を計り、地域コミュニティ・住民生活・地域経済の活性化を目指すことを企業理念としています。「**地域情報サイト**」の運営と地域経済の循環を行う「**地域共通ポイント**」を民間・官民協働事業とともに運営している実績がございます。

地域情報サイト運営エリア数

地域情報サイト展開 サイト数

249 サイト

展開エリア

582 市区町村

運営パートナー企業数

112 社

協定締結数

64 自治体

地域共通ポイント運営エリア数

地域ポイント展開エリア数

7 エリア

官民協働事業数

3 エリア

2018年5月時点

官民協働ポータルサイト	備考
神奈川県川崎市宮前区	日本初の官民協働ポータルサイト
兵庫県伊丹市	現地パートナーと共同運営
東京都新宿区	
埼玉県狭山市	
茨城県行方市	ふるさと納税も運営中
赤穂市・備前市・上郡町	現地パートナーと共同運営
栃木県那須塩原市	現地パートナーと共同運営
埼玉県伊奈町	現地パートナーと共同運営
埼玉県鴻巣市	
宮崎県西都市	現地パートナーと共同運営

エリア	運営開始	加盟店舗
山陰（出雲市・松江市・米子市）	2012年8月	約230店舗
船橋市	2013年6月	約50店舗
宮崎市	2014年12月	約20店舗
伊丹市（官民協働）	2015年11月	約50店舗
尼崎市	2016年4月	約50店舗
清水町（官民協働）	2016年10月	約50店舗
加古川市（官民協働）	2016年12月	約30店舗※

※2018年7月サービスイン予定

地域情報サイトや地域共通ポイントの運営は各地の地元企業をパートナーとし共に運営を行っています。地域情報サイトおよび地域共通ポイントの運営は広告費、ポイント手数料を収益源とし、民間事業として運営・発展させています。地域密着で培った運営ノウハウや事例を共有することで全国各地での運営を可能としています。枚方市では、**すでに400店舗を掲載店として抱え地元密着で動いている北大阪商工会議所が運営パートナー**として、地域情報サイトの運営および地域共通ポイントの運営を行っています。

地域密着で培った力をパートナー制度で全国展開

事例の共有（ポイント例）

<p>営業力</p> 	<p>取材力</p> 	<p>編集力</p> 	<p>開発力</p> 
---	---	--	---

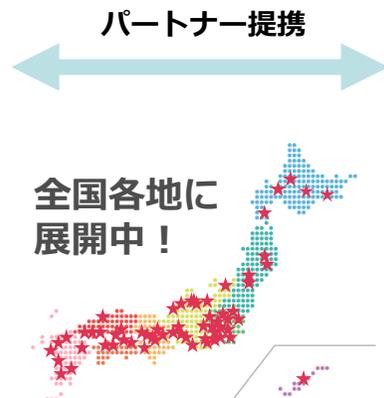


サイコロの目だけポイントを倍付けに。利用店舗とユーザーがどちらも楽しみながらポイント発行を行える事例。

現地企業（枚方市は北大阪商工会議所）



地元のことをよく知る地元企業・地元スタッフが足回りを活かして地域密着の活動を展開。



弊社



全国の成功事例やノウハウを活かしてサポート。定期的な営業研修会や報告会などの開催。



自治体発信のイベントとポイント加盟店を絡めたイベントの企画。ユーザー認知と加盟店の満足度の向上に。

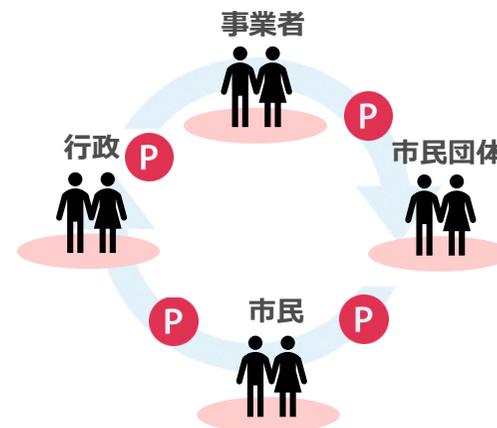
ポイント制度を導入するにあたって制度導入自体を目的とするのではなく、いかにして枚方市の課題解決に役立
てるか、いかにして市民を巻き込んでいくのかという点を考えることが重要となります。そのうえで第5次枚方
市総合計画にもとづき「枚方市ポイント制度」の核となる事業として「健康ポイント」「子育てポイント」「ボ
ランティアポイント」「まちづくりポイント」の4つテーマでご提案いたします。

■ 枚方市ポイント制度のあるべき姿

今後の少子高齢化や厳しい財政状況が予測されていく中で、枚方市が基本計画に掲
げる「みんながつながり、支えあうまちづくり」を着実に進めていくためには、行
政主体ですべてを進めていくのではなく、市民をはじめ市民団体、事業者などを巻
き込んであらゆる主体が連携・協力していくことが必要となります。

枚方市にとって「枚方市ポイント」は、従来のような行政主体の街づくりから公民
連携した街づくりの基盤として活用していくべき制度であると考えます。

※平成28年3月8日議決、3月14日策定「第5次枚方市総合計画」より抜粋



■ 枚方市ポイント制度の核となる事業

「みんながつながり、支えあうまちづくり」を実現するために必要な施策は、第5次枚方市総合計画基本計画に書かれて
いる「4つの重点的に進める施策」をもとに推進していく必要があると考えます。そのため、それら4つの事業をポイン
ト制度にあてはめ、各ポイント制度を推進することによって重点施策の実現を目指していきます。

誰もがいつまでも健康に暮らせるまちをつくる

健康ポイント

市民、市民団体、事業者、行政が連携し、支えあうまちをつくる

ボランティアポイント

安心して子どもを産み育て健やかな成長と喜びを支えるまちをつくる

子育てポイント

人々が交流し、賑わいのあるまちをつくる

まちづくりポイント

【プログラムの狙い】

- 市民向けに行っている健康に関するイベントや検診などにポイント付与を行うことで、市民が健康活動への参加の動機づけを行います。
- 市内で行われている民間を含めた健康活動を掘り起こし、参加者や主催者にポイントを活用して活動を促進させます。

【ポイント付与対象案】

- 各種検診受診でのポイント付与
- 健康関連イベント参加でのポイント付与
- ひらかた健康優良企業への枚方市ポイントカードの配布、健康ボーナスポイント付与
- 「ひらかた元気くらわんか体操」「ひらかた体操」などの参加者へのポイント付与および活動者へポイント付与

健康ポイント



【プログラムの狙い】

- 市内で実施されているボランティア活動にポイントを付与することで、新規参加者への動機づけや継続する楽しみを感じていただく。
- ボランティア活動の管理は庁内で複数部署に分かれるため、市内での活動状況の把握が難しいが、ポイント制度の導入により全体の活動状況の見える化することが可能です。

【ポイント付与対象案】

- 枚方市が関わるボランティア活動へのポイント付与
枚方市として推進しているボランティア活動を参加者に対してポイントを付与
- ひらかた生き生きマイレージのインセンティブを枚方市ポイントに
高齢者の社会参加を支援する「ひらかた生き生きマイレージ」事業について、活動に対して与えられる成果を枚方市ポイントとして付与

ボランティアポイント



子育てポイント

【プログラムの狙い】

- 枚方市で実施されている子育て支援だけでなく、子育てイベントや子育て支援を行う市民活動団体やNPOなどを知ってもらうことで安心して子育てが行えるようなまちづくりをつくりあげます。



【ポイント付与対象案】

- **出産一時金ポイント受け取り**
現金だけでなく市内限定で使えるポイントを得ることがで**子育て支援施策の利用促進**につなげる
- **枚方市ファミリーサポートセンターの事業でのポイント付与**
枚方市ファミリーサポートセンターの利用促進を目的として、利用者にカードやポイントを付与サポートをしてくれた人に心づけとして、利用者の枚方市ポイントを渡すことができるようにする

まちづくりポイント

【プログラムの狙い】

- 市民協働のポイント制度とするために市内で活動を行うNPOや市民団体などが自身の活動や枚方市のPRをすることで、今後のまちづくり活動への参加するための機会をつくっていきます。



【ポイント付与対象案】

- **枚方市の魅力発信レポーターの育成**
「市民レポーター」を育成し、枚方市の地元ネタなど枚方市の魅力発信をしていただけるよう講座を開設し、参加者には枚方市ポイントを付与し、また、記事を書いていただくごとにさらにポイント付与を行う
- **市内大学との連携**
市内5つの大学生に対してカードを配布して市政参加を促したり、枚方市ポイントの活用方法を学生と一緒に考える課外学習などを企画する
- **アンケート回答者へのポイント付与**

市民のまちづくりへの関心を高めるために、いかに市民を巻き込んでいくのかという仕掛けを作っていくことが重要です。ポイント流通状況を公表することで**ポイントが流通すること＝枚方市にとって良いこと**という意識付けを行うことで、制度を享受するだけでなく市民が積極的に枚方市ポイントに関わり、目標設定を達成していく楽しみを生み出す仕掛けをご提案いたします。

【枚方チャレンジプロジェクト】

●目的

枚方市ポイントにより多くの人々が参加してくれるきっかけを作り、枚方市の課題の達成状況をポイントの数値にして見える化し、市民の自主性によってその課題解決の一翼を担ってもらうため。

●内容

「枚方市ポイント」に参加する市民が制度への参加や市内事業者での買い物などでポイントを貯めていき、目標のポイント流通量が達成されたら参加ユーザーに対してボーナスポイントが付与される。

【枚方市ポイント活用検討委員会の設置】

枚方市に関わる事業者や活動団体などを集めて「枚方チャレンジプロジェクト検討委員会」の設置を提案します。枚方市ポイントをより市民に活用してもらうにはどうすればいいのか、定期的開催される検討委員会で出された案や意見を事務局で吸収し、制度運営に盛り込んでいきます。

【アクティブシニアの生きがいづくり】

本制度の目的のひとつである「高齢者の外出促進」に関しては、ポイントの利用先だけでなく、前述したポイント制度のプログラム案を活かして、豊富な知見や経験を活かした、今後のまちづくりや子育て支援の中心層として活躍していただけるような制度設計をめざします。

例)



加盟店での
ポイント発行数が
目標を上回ったら



健康活動への
参加者が目標値より
多かったら



枚方市ポイントの
参加者が目標値を
超えたら



達成率等に応じて
ユーザーにボーナス
ポイントを付与



弊社は官民協働ポータルサイトの運用実績から、市民を集めて行う「市民ライター育成講習会」などの実施実績を持っています。

枚方市ポイントの利用先について

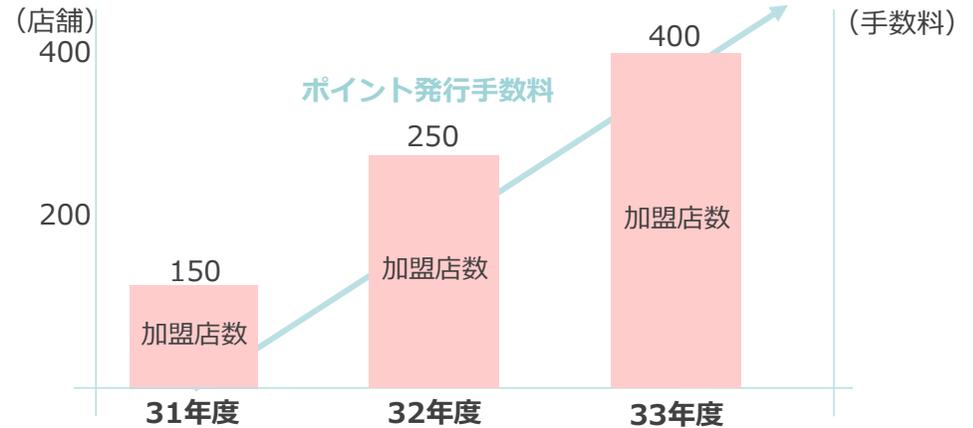
ポイントの利用先として最も多い部分を占める協力店舗の開拓を、既存顧客をすでに400店舗持つ北大阪商工会議所と行います。制度準備、開拓促進を踏まえ、**協力店でのポイント発行、利用の開始は平成31年度（2019年4月）を提案いたします**。また、協力店でのポイント利用をベースに市内でポイントが流通するような利用先の拡大、失効ポイントの利用方法を想定しています。

【協力店開拓の手法】

運営パートナーである北大阪商工会議所は2009年より弊社の地域情報サイト事業に参画いただいております、**有料掲載顧客がすでに400店舗あります**。また、協力店開拓を進めるために事業者の負担を200店舗限定で減らすことで利用先の確保をめざします。さらに商工会議所の役割と地域密着した体制を活かし、委託期間内の400店舗を目指します。

<ポイント加盟店のアプローチ先>

- ・地域情報サイト掲載店舗 **400店舗**
- ・商工会議所会員企業 3,500企業
- ・商店街の店舗 800店舗



【交通機関との連携】

市民の貯めたポイントの利用先として市内の交通機関との連携ができるように市内バス、タクシー会社等との調整を進めて参ります。

また、既存で予算化されている高齢者の外出移動促進事業を貯めたポイントでのチャージ金助成との連携を検討します。



【貯めたポイントの寄付】

貯めたポイントを活動支援として市内の市民団体やNPOへ寄付ができる仕組みを構築します。寄付先の開拓や広報なども事務局で行い、地域情報サイトで寄付状況などが確認できるようにします。

【失効ポイントの利用用途について】

枚方市ポイント制度の有効期限の設定については、的確な期間を枚方市様と協議の上、決定いたします。

ポイント制度を運用する上で発生した失効ポイントについては、原資分を枚方市ポイントに再還元できるよう提案いたします。

<失効ポイントの利用例>

- ・ポイント原資として再発行
- ・制度周知の広報として販促費として充当する
- ・市民活動団体やNPOへの寄付 など

すでに地元にあるFMや媒体などに加えて、**弊社の強みである地域情報サイト運営のノウハウを活用し、地域情報サイトでのコンテンツ制作を通じて制度や協力店のPRを行います。**併せて広報活動に必要な販促物を作成し、加盟店開拓時やイベントの際に市民の方々に知っていただける機会を増やしていきます。

【地域情報サイトとの連携】

北大阪商工会議所と一緒に運営している地域情報サイト内に「枚方市ポイント」の制度告知を行うコンテンツを作成し、PRを行います。

●コンテンツ案

- ✓ 枚方市ポイントの制度案内
- ✓ 枚方市ポイントの参加協力店舗一覧（地図一覧）
- ✓ ポイントがもらえるイベント情報
- ✓ 参加協力店舗でポイントがもらえるお得なキャンペーン
- ✓ 保有カードのポイント数・利用履歴確認

【その他販促物の作成】

WEBだけでなく、イベント時や協力店でのPRとして配布しやすい販促物を作成し、制度の周知および認知拡大に繋がります。

●販促物制作案

チラシ、ポスター／のぼり／制度案内リーフレット／協力店一覧 など、



チラシ
ポスター



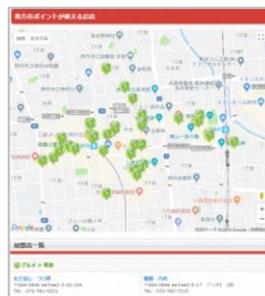
のぼり



制度案内
リーフレット



協力店一覧



協力店舗一覧（地図）

ポイント履歴

ポイント利用履歴を表示します。
※種別がポイントや利用された結果によって、残ポイント数が大きく表示されない場合がございます。

利用日	種別	ポイント	残有ポイント	店舗名
2016-09-13	獲得	10	0	遠水ブールわくわく
2016-09-13	利用	-1	0	遠水ブールわくわく
2016-09-13	獲得	1	1	遠水ブールわくわく
2016-09-13	利用	-1	0	地域交流センター
2016-09-13	獲得	1	1	地域交流センター
2016-09-13	利用	-1	0	子育て支援センター
2016-09-13	獲得	1	1	子育て支援センター
2016-09-13	利用	-1	0	こども交流館
2016-09-13	獲得	1	1	こども交流館

ポイント数・利用履歴確認画面

※保有カード登録時に属性情報の登録をすることができ、カード保有者のマーケティング分析に役立てることも可能です。（市内在住か否か、性別、年代 など、の個人情報として特定し得ない範囲の情報を想定しています）

【地元FMやミニコミ誌との連携】

弊社地域情報サイトだけでなく、地域に根差した他社の媒体なども積極的に活用し、地域の方々に知っていただく接点を増やします。

●連携案

- FMひらかたでの広報
- ひらかたつーしんと企画コンテンツ
- 地元ミニコミ誌への広告掲載
- 地元のゆるキャラ「ひこぼしくん」を使ったPR



枚方市産業振興センター
ひこぼしくん

今回の仕様書（案）におけるカード保有者の目標数である200,000人を達成するためにはどのような層に向けてカード配布を行えばいいのか、想定される母数をまとめました。枚方市様としてどのような層に向けて制度参加を促していくか協議をしながら、効果的なアプローチ方法を検討してまいります。

①



＜協力店舗でのカード配布＞

1店舗当たりの平均カード配布枚数 10枚/1か月

31年度 150店舗 18,000枚

32年度 300店舗 36,000枚

33年度 400店舗 48,000枚

約**102,000**枚

②



＜市内大学の大学生に配布＞

市内大学生と枚方市との接点を提供するため、市内大学と提携して枚方市ポイントカードを配布

約**10,000**枚

③



＜市の制度参加によるカード配布＞

活動に参加することによって枚方市ポイントがもらえる市の制度への参加者に配布。人口の5%を参加人数目安として、制度設計や広報を行う。

約**20,000**枚

④



＜ライフステージごとにカードを配布＞

様々なライフステージごとにポイントを介在させることで市政参加を促す。

転入時／入籍届提出時／出生届提出時 など

約**25,000**枚

⑤



＜高齢者・未成年層への配布＞

高齢者の外出促進や未成年層市政への参加を促し枚方市の魅力や愛着を育むことを目的としてカードを配布する。

高齢者層 約**50,000**枚

⑥



＜商工会議所会員、および協力企業への配布＞

北大阪商工会議所の会員で枚方市に事業所がある会員や、勤労互助会、その他協力いただける企業やNPOにカードを配布する。

⑦



＜市民が多く参加するイベントで配布＞

お祭りやマルシェなど、市民が多く参加するイベントに事務局として出店しカード配布を行う。

約**10,000**枚

⑧



＜FeliCaポケット搭載カードでの利用＞

SuiCaやPASMO、ご当地WAON、おサイフケータイなどFeliCaが搭載されているカード・媒体の活用を促すことでカード発行枚数よりも利用者数を増やすことも可能。

+α枚 10/20

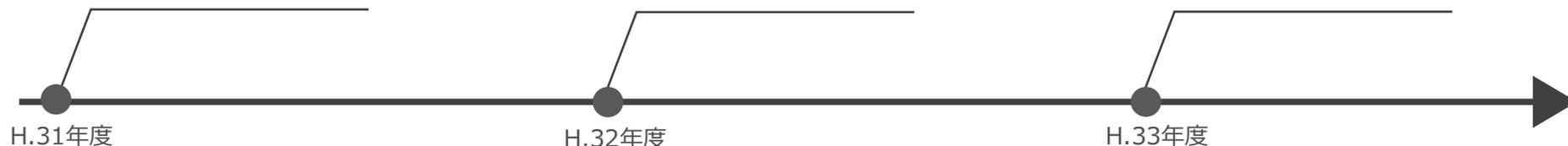
スケジュール① 契約締結後～平成30年度末まで

提案書番号：B-1

契約締結後からすぐに制度設計に取り掛かり、**2019年1月からの運用開始を目指します**。平成30年度は制度設計と事務局の立ち上げを優先し、**協力店でのポイント付与・利用開始は平成31年4月から**を目指します。

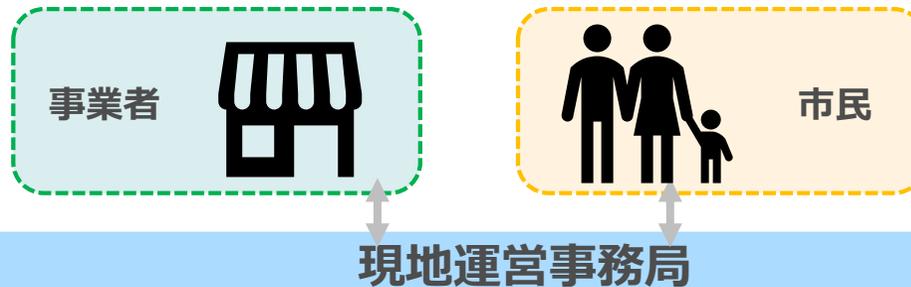
行程	2018年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	2019年 1月	2月	3月
契約締結		締結 ▲							
キックオフ		開催 ▲							
システム導入					システム導入		市役所端末納品 ▲		
制度設計									
カード作成			デザイン検討	版下 作成	印刷		納品 ▲		
広報物作成					リーフレット制作		納品 ▲	協力店一覧作成	納品 ▲
サイト構築					サイト構築		公開 ▲		
現地窓口設置					窓口設置準備		受付開始 ▲		
庁内説明会		開催 ▲				端末操作説明会 ▲			
協力店開拓				受付開始 ▲		協力店開拓			
協力店舗説明会				開催 ▲			開催 ▲		
制度開始							★		

平成31年度以降は、制度の安定的な運用と拡大・発展を視野に入れて事務局運営を行っていきます。各部署が発行するポイントだけでなく、様々な関係者を巻き込むことで自走化に向けた基礎的な収益づくりのために業務を遂行してまいります。



上記計画については業務計画を立て、その内容をもとに枚方市と協議しながら進めてまいります。計画進捗に遅れが発生した場合、リカバリープランをその都度提案し、枚方市様との調整を図ってまいります。

本制度を運営するための万全な体制の整えるため、現地の運営事務局として北大阪商工会議所と連携いたします。枚方市内での事業者とのネットワークや会議所の役割である経営支援を活用し、協力店の開拓を進めます。弊社は各地での運営実績を元にシステム導入、制度設計から制度運営のノウハウを提供いたします。



■ 事業者向け

- ・ 現地のネットワークを活かしたポイント協力店開拓
- ・ 加盟店への継続的な経営改善支援

■ 市民向け

- ・ 枚方市役所に近い立地を活かし窓口開設
- ・ 市民からの問い合わせ、訪問者対応
- ・ 市内各所での制度広報

■ 現地事務局

- ・ 現地での端末、カード等の管理
- ・ 加盟店からの問い合わせ一次窓口

運営管理事務局

◆ ポイント制度設計

◆ ポイント制度周知企画

◆ ポイントシステムの提供

- ・ 端末、カードの調達

◆ ポイントシステムの保守管理

◆ 運営サポート問合せ窓口

- ・ システム問い合わせや協力店からの二次窓口

◆ ポイント利用集計、分析レポート

- ・ 分析レポート、マーケティング活用支援

◆ ポイント原資の管理、精算業務

◆ 地域情報サイト(制度HP)システム提供管理

◆ 地域共通ポイント運営ノウハウの提供

- ・ 官民協働運営テーマの推進
- ・ 地域活性化支援メニューによるサービス拡充

本制度の運営を行うにあたって、**地域ポイントの運用経験豊富な担当者の配置を行います**。またポイントシステム構築・保守や北大阪商工会議所にもそれぞれ人を配置し、それぞれの役割において運営のPDCAを回します。

運営管理事務局

業務管理責任者

－プロジェクト進行管理や制度設計を担当。枚方市様との窓口を取りまとめる。

運営管理事務局

－ポイント集計や原資の管理、その他事務手続きや問合せ全般に対応する。

加盟店開拓支援

－現地運営事務局の業務支援や加盟店開拓・販促業務の支援を行う。

システム構築・保守管理者

－ポイント制度システムの構築および保守管理を行う。弊社担当とシステム提供元の大日本印刷(株)との共同で行う。

現地運営事務局

窓口担当者（1名想定）

－市民問合せ窓口対応

加盟店開拓・広報活動担当者（2名想定）

－協力店舗の開拓・経営支援・問い合わせ対応
イベント等での制度周知・広報業務

現地窓口の設置（案）

大阪府枚方市大垣内町2-12-27 北大阪商工会議所内
枚方駅より徒歩10分、枚方市役所から徒歩5分
開所時間：平日10：00～17：00

<想定外の問題に対する柔軟な対応>

● 端末に関する問い合わせ窓口の設置

土・日・祝日、年末年始など事務局や窓口の休日に発生したトラブル対応窓口としてコールセンターを設置いたします。コールセンターではポイント端末の操作方法や代替機の発送を行います。問い合わせ内容は事務局が把握し、必要があればエスカレーションされ翌営業日等にスムーズに対応できるようにいたします。

※コールセンターは制度の問い合わせ対応でなく、端末動作や操作に関する問い合わせ対応となります。

対応日時：土・日・祝日、年末年始等事務局が休みの日 10：00～20：00

● システムトラブルがあった場合の対応方法

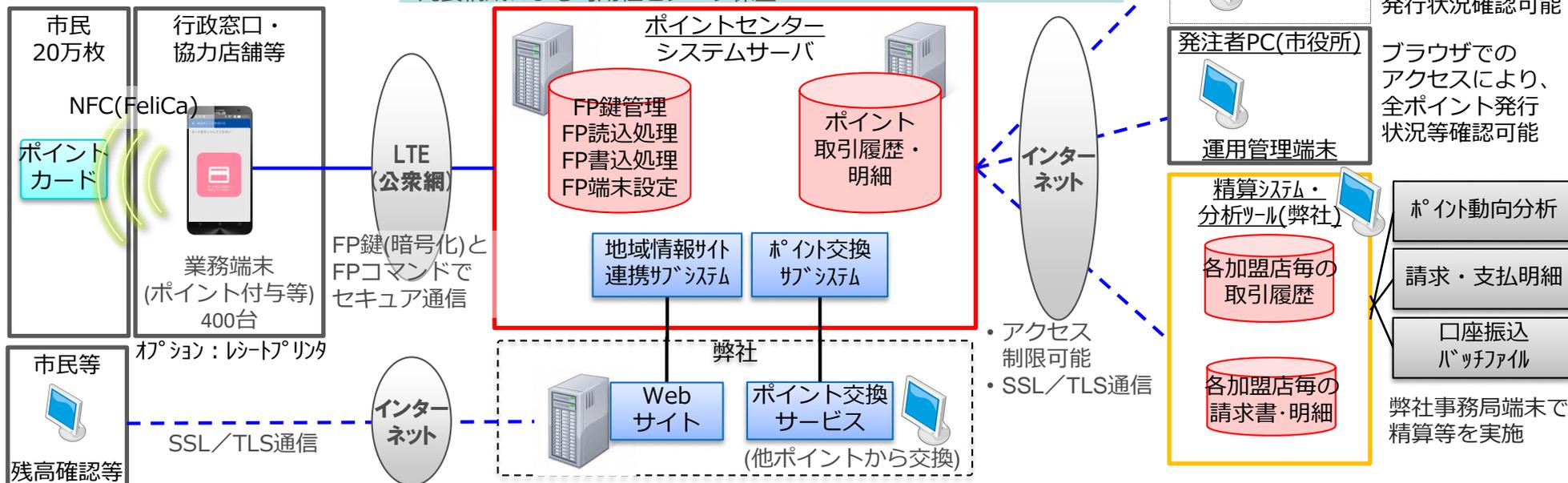
ポイントシステムを管理するサーバー等に障害等が発生した場合に対して、枚方市様並びに現地事務局にスムーズに連絡できるようエスカレーション体制を用意し、最短ルートでアナウンスできるような体制を構築いたします。

ポイントシステムの概要①

「枚方市ポイント制度システム構築・運營業務委託仕様書（案）」の6.(1)の仕様に準じた、下記構成のシステムで、目標とするカード保有者数や協力店舗数に対応しうるシステムです。

ICカード(FeliCa方式非接触型)
 ・FeliCaに搭載されているFeliCaポケット(FP)を採用
 ・オリジナルのデザインは、採択後協議

サーバ・NW 機器等
 ・電子マネー等で利用されているセンターとサービスをベースとし、同等な技術的なセキュリティを施し、原則24時間365日利用可能
 ・24時間365日障害受付・障害監視・障害発報によるスピーディーな対応
 ・冗長構成による可用性とデータ保全



業務端末
 ・カードリーダー付の約5インチサイズのandroid スマートフォン
 ・必要データ量を遅滞なく扱えるLTE通信
 ・データを保存しないシンクライアント型
 ・MDMで、利用者によるアプリ導入と設定変更を制限、セキュリティ対策、盗難紛失時の遠隔消去可能

データセンターのセキュリティ
 ・国内(別途提出可能)設置、サービスレベルは「ティア3相当」、適合証明または設備仕様等の提示により書面で確認可能
 ・故障や利用終了時には、データ復元不可となるよう、破壊・消去等の措置実施。消去実施の証明書類の提出可能
 ・震度6以上の耐震もしくは免震設計
 ・年1回の立入検査、第三者による情報セキュリティ監査報告書、外部委託事業者の内部監査部門による情報セキュリティ監査報告書等の確認可能。さらに事故発生時の教育・訓練を定期的の実施中

システム機能等
 ・ポイント加算減算や有効期限設定可能
 ・事業形態等に応じたポイント付与や、ポイントUPキャンペーン等の機能有
 ・新規機能の拡張性と柔軟性有
 ・画面機能等について、スマートフォンアプリによる直感的な操作性に優れ、文字サイズ等アクセシビリティにも配慮済

ICカードを用いたポイントの仕組みとして、FeliCaポケット式ICカードに、シンクライアント型スマートフォン端末を提供しています。

ICカード

FeliCa ポケット搭載媒体による
高セキュリティと柔軟なサービス追加



- FeliCaポケットは、国内デファクトのICカードであるFeliCa カードに搭載されている拡張性のある機能で、カードサービス運用開始後でも、地域課題解決のためのポイント施策などを追加運用可能
- カード→領域→各サービスと、3重の暗号化が施してあるため、電子マネーと同レベルで、地域商品券など高額の金券でも対応できる高いセキュリティ性があります。
- 独自カード+各企業のカード+スマートフォンのおサイフケータイで展開可能です。
- 電子マネーやクレジットカード会社などが発行しているフェリカポケット搭載カード(国内4000万枚流通)を活用することで、カード発行コストを低減することが可能です。
- オリジナルカード以外にも、Suica等の交通系ICカード(枚方周辺では(株)大阪メトロサービスが発行しているOSAKA PiTaPa等が対応)やご当地WAONで採用されている規格。事前にカード発行者との許諾は必要ですが、弊社が調整を進めます。枚方市には、依頼状等を依頼する場合があります。

ポイント端末

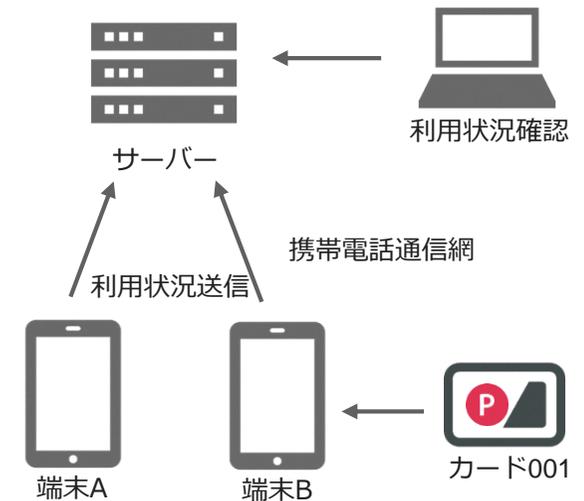
シンクライアント型スマートフォン端末による
操作性・利便性



- 直感的な操作が可能なスマートフォンでのご提供。高齢化する商店街などの店主でも容易に操作できるという利便性があります。
- MDMにより安全安心な利用環境を提供します。アクセス先や用途外の利用を抑制し、ウイルス感染を防いでいます。
- ポータブルな端末により、地域イベントなどでもポイント発行・利用ができ、地域活動への市民の参画を促せます。
- 端末毎に自由にポイント付与数の設定が可能です。
- カードの鍵情報はポイント端末に持たず、センター側で管理しているので、漏洩リスクはありません。

システム構成

シンクライアント型による
サービス拡張性とシステム連携性



- サービスの追加やポイントの倍率変更など地域の課題解決に必要な施策をスピーディーに反映することができます。
- 地域、商店街、業種団体等で一体となったポイントキャンペーンを展開することが出来ます(ポイント端末をグルーピングし、グループ内の端末のポイント付与率を一齐に変更できます。)
- ポイント取引データがリアルタイムに収集されており、データ分析に活用できます。
- ポイントサーバーとWebサーバーを連携し、Webサイト上でポイント残高や利用履歴を確認できる機能をご提供いたします。
- 他社のポイントからの交換機能を有します。

ポイントの統計・分析は、制度の運用をスムーズに行うために月に1回程度下記の内容でご報告をさせていただきます。数値だけのご報告だけでなく、改善するための手法なども併せて提案させていただきます。

● 随時ご提供可能なデータ

分析に必要な下記の各データをご提供することが可能です。また、枚方市様で利用する業務端末から利用できる管理画面をお渡しするため、リアルタイムで利用状況を確認いただくことが出来ます。合わせて、管理画面からCSV形式で元データを随時エクスポートすることも可能です。

● 弊社からご提供可能なデータ・分析内容

市役所様で発行されるポイント付与・交換などの実績を報告書形式にまとめ、月に一回ご報告させていただきます。ご報告内容は下記を想定しておりますが、ご要望に応じて報告内容を追加することも可能です。

✓ 月別の総発行ポイント数/回数

月ごとのすべてのポイント発行状況を一覧化およびグラフ化し、増減状況を分析いたします。

✓ 各制度ごとの総発行ポイント数/回数/参加人数

市で発行している制度毎の総発行ポイント数や回数、参加人数をご報告いたします。

✓ 付与イベントごとの総発行ポイント数/回数/参加人数

ポイント発行したイベント（日付）にフォーカスして、総発行ポイント数や回数、参加人数をご報告いたします。

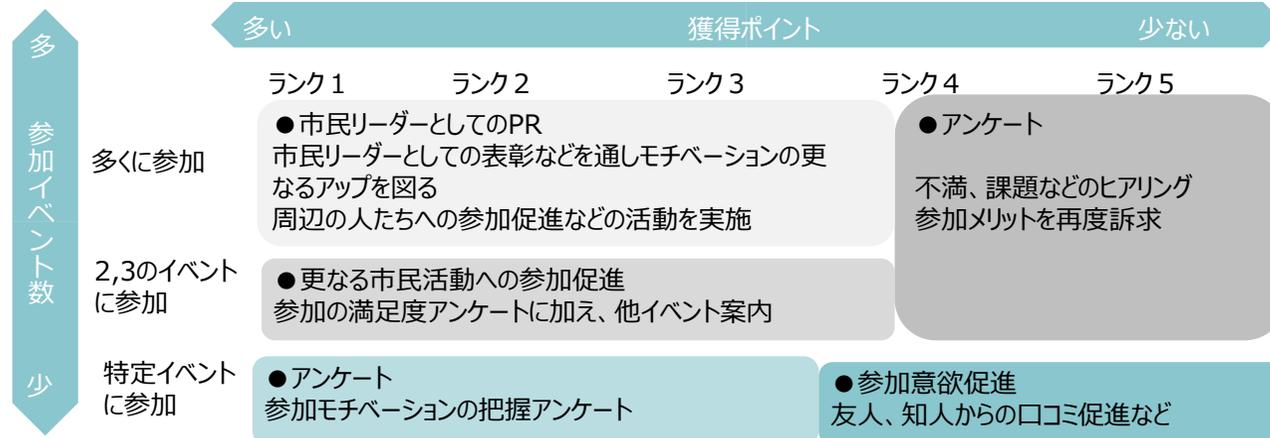
✓ (カードの属性情報が取得できている場合) 各属性ユーザーの割合分析

取得した属性情報ごとの割合や分布図などをご提供いたします。

✓ MAU率 (Monthly Active Users, ひと月当たりの稼働ユーザー数)

MAU率の増減分析と合わせて、どのようにしたらMAU率（参加者率）を高めていけるかご提案をさせていただきます。

● 分析手法の例



他の市民サービスにかかる取組みへの発展のために、ポイント制度を活用して蓄積された「アンケート」や「活動データ」、参加者の「属性データ」を集計分析することで市民サービス向上のためのヒントを収集します。

アンケート

活動データ

属性データ

購買データ



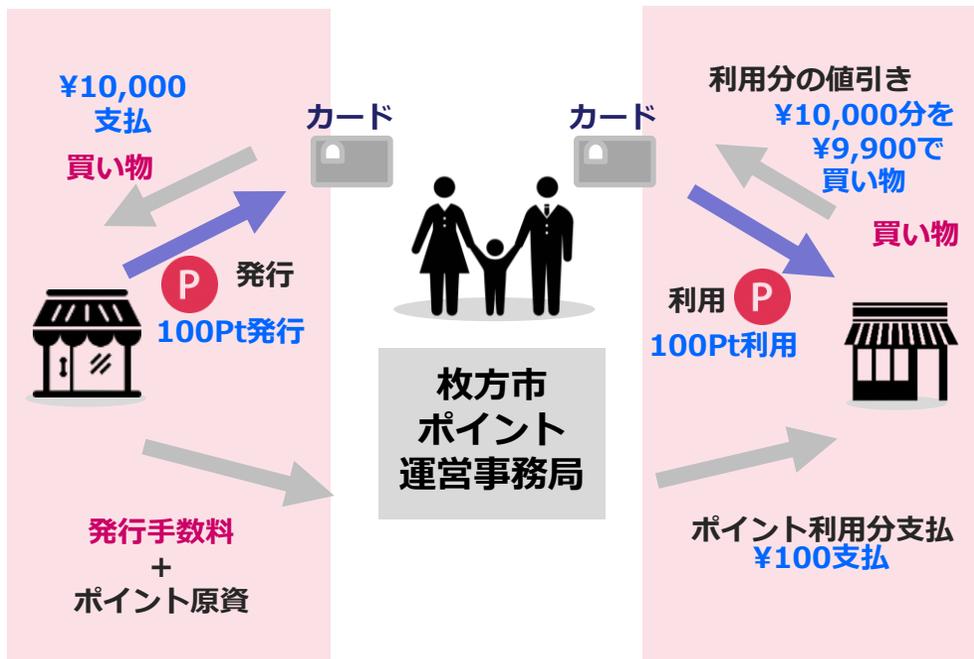
ポイント制度により市民へポイントカード配布と合わせて、個人情報に当たらない範囲でのデータを収集し、制度参加者が実際に参加した活動やアンケートへの回答と突合せることで、市民の市内での活動状況の把握に活かすことができます。また、属性データと市内の加盟店での利用データと合わせることで、市内での消費活動のデータも収集することも可能です。



ポイント制度を活用しデータを収集することで、データの利活用を行い、市民サービス向上のためのヒントを得るためのお手伝いを行います。

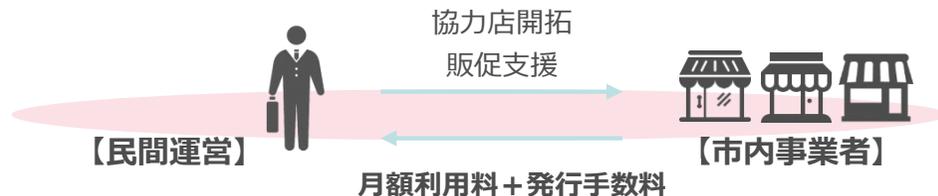
枚方市ポイントの運営は、協力店舗からの手数料を収益とし自立運営を目指す体制をご提案いたします。33年度以降は枚方市様からの委託費を減少させ自走運営への基礎を作ります。

■ 事業運営スキーム



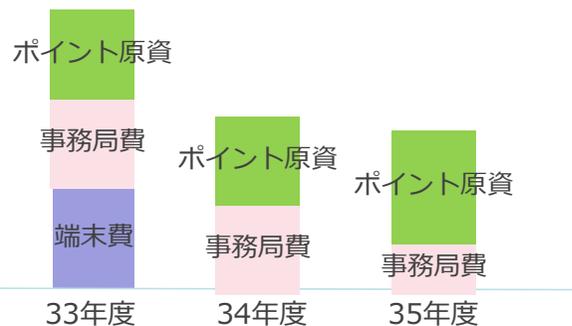
- ・ 協力店から100円の買い物につき、1円（ポイント）が発行され、1ポイント=1円として協力店で使用できます。
- ・ 協力店からは発行1ポイントにつき、運営収益として発行手数料を徴収。地域ポイント分の原資と合わせて徴収いたします。
- ・ 地域ポイント原資分の1円に関しては、運営事務局で預り金として計上し、地域ポイントとして使用された際に、事務局から使用相当の金額を支払います。
- ・ 協力店は運営事務局に端末利用料などは別途支払います。

■ 自立採算に向けた収益化促進



30年度以降も北大阪商工会議所を中心とし、協力店開拓を継続いたします。加盟店にも販促ツールとしてポイントを活用していただき、収益化の柱となる「発行手数料」の増加を図ります。これにより、枚方市の後年度負担を徐々に減らし、自立採算での運営を目指します。また、現在運営している地域情報サイトの広告案内も同時に行うことで、自主運営の収益化をさらに進めることが可能です。

■ 枚方市の後年度負担

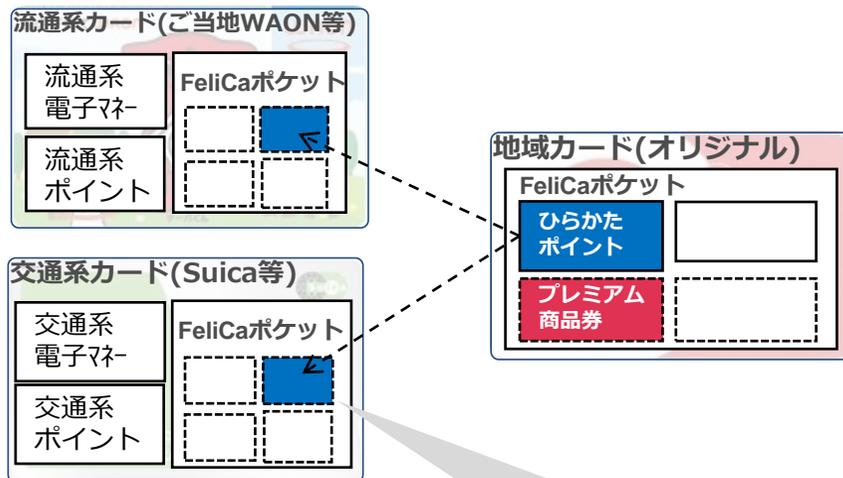


協力店よりポイント端末月額利用料とポイント手数料を徴収し事業を継続していきます。委託期間後の委託費は枚方市所有端末の月額使用料、一部事務局費と発行されたポイント原資分とそれにかかる手数料を想定しています。ポイント加盟店、発行手数料を増やすことで段階的に事務局費を軽減してまいります。あ

FeliCaポケットの特徴としてすでに流通しているカードもポイントカードとして利用することが可能です。既存で流通しているカードを活用することで、**カード製造コストの削減**が可能です。また、本制度の発展性として協力店へ端末設置を進めることで、市外への経済流出を防ぎ、枚方市内を循環する地域経済圏を構築します。その後、整備されたインフラを活用することで、**地域経済応援ポイント**や**外部ポイント連携**による、**外からの経済流入**や**プレミアム商品券事業の電子化**による**経費削減効果**やポイント端末を活用して**キャッシュレス決済機能の追加**を視野に入れることができます。

■カード製造コストの削減

枚方市オリジナルカード作成に加えて、FeliCaポケット搭載のカードを利用することで、カード製造コストを抑えて、カードユーザーを増やすことが可能です。



※オリジナルカード以外のカード利用は事前にカード発行者への許諾が必要です。

枚方市ポイントをすでに流通しているFeliCaポケット対応カードにも提供可能

■将来的な制度の発展型

